

公益財団法人日本リウマチ財団

平成26年度

リウマチ月間リウマチ講演会

開催日 平成26年6月8日(日)

場 所 丸ビルホール

# リウマチ月間 リウマチ講演会 ～新しいリウマチ医療体制の構築～

開催日：平成 26 年 6 月 8 日(日)

主 催：公益財団法人日本リウマチ財団

後 援：厚生労働省・日本医師会・日本リウマチ学会  
日本整形外科学会・日本リウマチ友の会

## 次 第

式典 13:00～13:40

挨拶	日本リウマチ財団代表理事	高久 史 麿
来賓祝辞	日本医師会会長	横 倉 義 武
	日本リウマチ学会理事長	高 崎 芳 成
	日本整形外科学会理事長	岩 本 幸 英
	日本リウマチ友の会会長	長谷川三枝子
授賞式	三浦記念リウマチ学術研究賞	畠 山 鎮 次
	日本リウマチ財団	
	柏崎リウマチ教育賞	岩 田 久
	ノバルティス・リウマチ医学賞	中 島 友 紀
	塩川美奈子・膠原病研究奨励賞	山 本 元 久
	日本リウマチ財団リウマチ福祉賞	野 口 祐 子

休憩 13:40～13:50

基調講演 13:50～14:50

座長：高久 史麿 日本リウマチ財団 代表理事

「難病の患者に対する医療等に関する法律案について」

田原 克志 厚生労働省健康局疾病対策課 課長

講 演 14:50～15:40

座長：松野 博明 松野リウマチ整形外科 院長

「医療費のしくみ」

麦谷 眞里 東京医科大学医学総合研究所 教授  
前・厚生労働省審議官

休憩 15:40～15:50

講 演 15:50～16:40

座長：川合 眞一 東邦大学医学部医学科内科学講座膠原病学分野 教授

「新しい展開を迎えた関節リウマチのトータルマネジメント

ーリウマチ財団登録薬剤師制度の発足ー」

松本 美富士 桑名市総合医療センターリウマチ・膠原病内科 顧問

閉会の辞 西岡 久寿樹 日本リウマチ財団常務理事

リウマチ財団登録医単位・・・3単位、リウマチケア看護師単位・・・3単位

リウマチ財団登録薬剤師単位・・・3単位（研修会参加実績1回、経過措置期間）



たはらかつし  
田原克志

厚生労働省健康局  
疾病対策課長

略歴：

平成元年4月 厚生省健康政策局計画課  
 元年4月 福岡県庁、保健所  
 3年7月 厚生省保険局医療課  
 6年8月 厚生省薬務局医療機器開発課  
 7年4月 厚生省薬務局経済課  
 9年4月 広島県福祉保健部健康対策課長  
 12年4月 防衛庁人事教育局衛生課  
 13年10月 厚生労働省大臣官房総務課広報室  
 14年8月 厚生労働省医政局医事課  
 16年4月 厚生労働省医政局総務課  
 17年8月 厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長  
 18年8月 岡山県保健福祉部長  
 20年7月 厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室長  
 23年7月 厚生労働省医政局医事課長  
 25年7月 厚生労働省健康局疾病対策課長（現職）

### 難病の患者に対する医療等に関する法律案について

厚生労働省では、厚生科学審議会難病対策委員会の報告書を基にして、平成26年2月12日に難病対策に関する新たな法律案を国会に提出し、大きな改革を進めているところです。本法案では、「難病の患者に対する医療等は、難病の克服を目指し、難病の患者の社会参加の機会が確保され、難病の患者が地域社会において尊厳を保持しつつ他の人々と共生することができるよう、総合的に行わなければならない。」ことを基本理念としており、対策としては「治療方法の開発と医療の質」、「医療費助成の仕組みの構築」、「国民の理解促進と社会参加の施策の充実」の3つの柱を掲げ、国が難病対策に係る基本方針を定め、医療提供体制の確保や研究開発を推進するとともに、福祉や雇用などの他の施策との連携を図ることとしています。

難病法案については、現在、国会審議がなされているところであり、国会での審議内容や関係機関、関係団体等のご意見についても十分に踏まえながら、総合的な難病対策を推進していきたいと考えています。



むぎたにまさと  
麦谷真里

東京医科大学  
教授  
前・厚生労働省審議官

略歴：

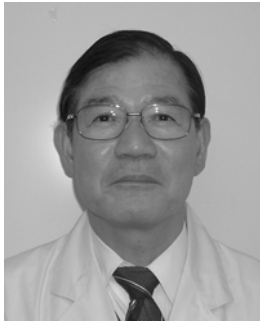
1979年(昭和54年) 3月 新潟大学医学部医学科卒業  
 4月 厚生省入省  
 1983年(昭和58年) 6月 米国ジョンス・ホプキンス大学大学院卒業  
 2001年(平成13年) 1月 厚生労働省健康局疾病対策課長  
 2003年(平成15年) 8月 厚生労働省老健局老人保健課長  
 2004年(平成16年) 7月 厚生労働省保険局医療課長  
 2009年(平成21年) 7月 厚生労働省大臣官房審議官（国際保健担当）  
 2014年(平成26年) 1月 東京医科大学教授（国際保健部門）

### 医療費のしくみ

よく、日本は医療費が高い、とか、医療費を抑制しなければ社会保障が破綻する、などと言われたり報道されたりしているが、そもそも、医療費とは何か、ということから始まって、なぜ医療費が増加すると困るのか、さらには誰が困るのか、あるいは、医療費を押し上げる要因は何か、ということを整理して解説する。

次に、医療費がどのような形で診療報酬制度と連携し、その基礎となる診療報酬点数や薬剤の価格はどのように決定されるのかを紹介する。

さらに、医療費に対する国民の誤解を解き、適切な医療費、適切な診療報酬制度はどのようにあるべきかをみなさんとともに考える。



まつもと よしふじ  
**松本 美富士**

桑名市総合医療センター  
リウマチ・膠原病内科 顧問

**経歴：**

1968年 名古屋市立大学医学部卒業  
1972年 名古屋市立大学大学院内科系修了  
1974年 名古屋市立大学医学部第2内科学助手  
同上 講師、助教授を歴任  
1998年 豊川市民病院副院長  
2002年 山梨県立看護大学短期大学部教授  
2006年 藤田保健衛生大学医学部内科（七栗サナトリウム）教授  
2012年 桑名市総合医療センターリウマチ・膠原病内科顧問

**資格：**

日本リウマチ財団登録医、日本内科学会認定内科医、日本リウマチ学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医、日本腎臓学会専門医・指導医

**活動：**

日本リウマチ財団リウマチケア専門職制度検討会委員長・医療保険委員会委員・医療情報委員会委員、前厚労省線維筋痛症研究班研究代表者、日本リウマチ学会・日本アレルギー学会功労会員、日本線維筋痛症学会副理事長、日本痛風・核酸代謝学会名誉会員

## 新しい展開を迎えた関節リウマチのトータルマネジメントーリウマチ財団登録薬剤師制度の発足ー

（公財）日本リウマチ財団は発足時から、リウマチ性疾患の医療の質・安全・効率性の担保のために各種医療専門職の連携と協働によるチーム医療の実践的活動をミッションとして推進してきた。すなわち第1の矢がリウマチ財団登録医制度であり、第2の矢として2010年からリウマチケア看護師制度が発足し約1,500名の看護師が登録され、現在リウマチ医療現場で先駆的な取り組みが行われリウマチ・チーム医療のリーダー的役割を果たしている。第3の矢として本年度から日本薬剤師会、日本病院薬剤師会等の協力のもとにリウマチ財団登録薬剤師制度が発足した。身体の変化の専門家であるリウマチ患者（家族を含む）さんの参加のもと、診察室から院外調剤薬局を含めた薬局・在宅までのシームレスなコンコーダンス・モデルのチーム医療が可能となる。そこで、リウマチ財団登録薬剤師制度の概要と意義について述べたい。

## 受賞者の研究題目と功績

### 三浦記念リウマチ学術研究賞

畠山 鎮次 北海道大学 大学院医学研究科 生化学講座医化学分野 教授

研究題目：リウマチ性疾患における免疫細胞活性化を制御する  
ユビキチン化システムの解明

### 日本リウマチ財団柏崎リウマチ教育賞

岩田 久 名古屋大学 名誉教授

偕行会名古屋共立病院 骨粗しょう症・リウマチセンター長

功績：多年にわたりリウマチに関する医学教育及び患者教育に専念し、わが国のリウマチ学の進歩発展、リウマチに関する知識の啓発普及に尽力した。

### ノバルティス・リウマチ医学賞

中島 友紀 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 分子情報伝達学分野  
准教授(分野長)

研究題目：破骨細胞を起点とした骨破壊の制御機構の解明

### 塩川美奈子・膠原病研究奨励賞

山本 元久 札幌医科大学医学部 消化器・免疫・リウマチ内科学講座 助教

研究題目：IgG4 関連疾患の発症機構と免疫エフェクター細胞の動態解析

### 日本リウマチ財団リウマチ福祉賞

野口 祐子 聖学院大学 人間福祉学部人間福祉学科 教授

功績：リウマチ性疾患に悩む患者の方々に対して、永年にわたる社会的救済活動を通じて、その福祉向上に著しく貢献した。



Japan Rheumatism Foundation

公益財団法人

**日本リウマチ財団**

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目39番7号  
ヤマモト大塚ビル5階

TEL (03)3946-3551・FAX (03)3946-7500

<日本リウマチ財団ホームページ“リウマチ情報センター”>

URL : <http://www.rheuma-net.or.jp/>

E-mail : [inform@rheuma-net.or.jp](mailto:inform@rheuma-net.or.jp)